

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121121038	服飾文化論 Cultural Study of Clothes	平岩 暁子			2	必修	2前期
科目の概要							
衣生活は、各地の文化や宗教などによりそれぞれ特徴を持つ形が育まれ発展してきた。また温湿度等の環境にも大きく影響されている。そのような背景をふまえながら、健康で快適な衣服とはどのようなものかを身体的、心理的の両面から捉えていく。衣生活において配慮の必要な高齢者や障がい者の衣服についても考える。本科目はディプロマポリシーDP4にある「人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができる」ようになるための科目として位置付けている。担当教員は公立の高校講師を務め、実習を含む家庭科教育の経験がある。被服製作の実習で培った経験を活かし授業を行う。							
学修内容				到達目標			
① 各地の環境と文化、衣生活の関わりについて知る。 ② 人間の体温調節と衣服の役割について知る。 ③ 人体の動きと衣服圧、着心地の関係について知る。 ④ 衣服着用では身体的快適と心理的快適があることを知る。 ⑤ 高齢者や障がい者の衣服について考える。				① 環境や文化の違いが衣生活に大きく影響していることを理解している。 ② 人間の体温調節のメカニズムと、衣服の役割について説明できる。 ③ 人体の動きと衣服圧、着心地の関係について説明できる。 ④ 衣服着用では身体的快適と心理的快適の両方が大切であることを理解できる ⑤ 高齢者や障がい者にとって着やすい衣服を考えることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題を理解するのに必要な知識について、配布プリントを読み、文献等を調べて、自分で学修ができる。					
	働きかけ力						
	実行力	必要な学修の内容や方法を自分で考えて、目標のレベルまで到達できる。					
考え抜く力	課題発見力	プリントや文献等を読み、情報を整理して衣服に関する課題を発見することができる。					
	計画力						
	創造力	各地域の衣生活についてさまざまな面から考え、自分なりの答えを導き出すことができる。					
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現し、ディスカッションできる					
	傾聴力	発言者の意見を正確に理解し、自分の考えをまとめることができる					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語、携帯電話を触るなどをせず、ルールを守った行動ができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『ビジュアル衣生活論』、岡田宣子他、建帛社（2018） プリントは適宜配布、classroom、notebookLMに資料提示する。 参考文献：『アパレルと健康』、平岩暁子他、井上書店、（2012）							
他科目との関連、資格との関連							
「服飾文化論」は専門分野の空間・情報デザイン科目群・衣分野の科目の一部であり、「衣生活論」「ファッション造形実習Ⅰ」で獲得した知識や技術を活用する。また「服飾文化論」はその後に履修する「ファッション造形学」「ファッション造形実習Ⅱ」の基盤となる科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
人体と衣服の快適性の関係をいつも考えながら講義を聞くこと。				授業で配布する資料の予備は、次週まで保管する。欠席しても自己学修してPCRシートを必ず提出すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	50	①	✓	期末試験期間中に筆記試験を行う。 獲得：授業内で扱った事項について知識となって獲得できているかの確認問題(30%) 活用：知識を総合的に捉え衣生活の中で活かすことができるかの確認問題(30%) 解決：衣生活の中のさまざまな問題に対して自分の考えを持ち提案ができるかの確認問題(40%)		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	30	①	✓		毎週のPCRシートの提出と課題が提出されており、衣生活の中の問題点を自分なりに捉えられているかを評価する。 獲得：示したスライドや説明内容をしっかり記載できている(60%) 活用：獲得した知識をよりよい衣生活のために活かせることが分かっている(20%) 解決：衣生活の中の問題点を自分なりに捉えてよりよい方法を提案できている(20%)
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①	✓		高齢者や障がい者のための着やすい衣服を考え、発表する。 獲得：各自またはグループで調べ情報を獲得できているか(30%) 活用：話し合いを進め、得た情報をまとめられているか(30%) 解決：まとめたことから各自の考えや提案が行えているか(40%)
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(規律性)・受講態度(遅刻、欠席、私語、居眠り、携帯を触るなど)は減点する (主体性)・出席、授業中の興味関心、意欲を評価する。 (実行力)・目標まで到達しようという努力の姿勢を小テストで評価する。 (課題発見力)・衣服に関する課題を発見できているか、授業態度で確認する。 (創造力)・自分なりの方法を考え、実行しているか、授業態度で確認する。 (発信力)・グループディスカッションで内容を確認する。 (傾聴力)・授業態度やグループディスカッション、発表の聴講態度などで確認する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
環境の変化と人間の体温調節のメカニズム、衣服の役割について、人体の動きと衣服圧、着心地の関係について正確に理解している。身体的快適と心理的快適について説明できる。高齢者や障がい者の着やすい衣服を考え、自分の言葉で説明ができる。 ※上記に対し極めて高い評価が与えられると判断された場合、S(秀)評価をする。	環境の変化と人間の体温調節のメカニズム、衣服の役割について、人体の動きと衣服圧、着心地の関係について分かる。身体的快適と心理的快適についておおよそ説明できる。高齢者や障がい者のための着やすい衣服を考えることができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	人はなぜ服を着るのか。 世界各地の文化や環境に適応してきた衣服を考える。	講義	各地の文化や環境と衣服の形態の関係が分かる。	(予習) シラバスを読み内容を把握しておく (復習) 自分にとって服を着る大切な目的は何か考えまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	人の体と体温調節 温度変化のある環境の中で人はどのように体温をキープしているかを知る(産熱と放熱のバランス)。 衣服内気候の計測①	講義 演習	体温調整のメカニズム、産熱と放熱のバランスが分かる。	(予習) 体温のメカニズムについて調べてくる (復習) 体温を保つために無意識に起こす行動についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	寒い環境に適した衣服、暑い環境に適した衣服の条件。 衣服内気候：衣服は持ち運べる小さな環境と考える。 衣服内気候の計測②	講義 演習	衣服内気候について説明できる	(予習) 衣服内気候について調べてくる (復習) 快適に衣服を着用するために行う行動についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	衣服の水分特性 体から出ている水分と衣服の水分特性、着心地との関係を知る。 手から出ている不感蒸泄を確認する。	講義 演習	体から出る水分と衣服の水分特性について分かる。	(予習) 衣服の水分特性、繊維の種類について調べてくる (復習) 体から出る不感蒸泄と衣服の着心地について考察する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	衣服の保温性 ヒートテックはなぜ温かいのか	講義	衣服の保温性と空気の関係が分かる	(予習) 機能性肌着について調べてくる (復習) 機能性肌着の着心地と肌トラブルについて考察する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	衣服の保温性 クロー値について考える。 自分の着ている衣服の保温性を調べる。	講義 演習	衣服の保温性の指標の一つとしてクロー値を理解できる	(予習) 着用している衣服の形と素材について調べてくる (復習) 着ている服のクロー値について調べてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	西洋の服飾史について ヨーロッパでのコルセット文化	講義	衣服による身体圧迫の歴史について分かる。	(予習) 日常生活での服による圧迫の経験を調べてくる (復習) 衣服による身体圧迫の歴史についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	日本の服飾史と履き物について 中国の纏足文化	講義	圧による足への影響が分かる	(予習) 日本の靴の歴史を調べてくる (復習) 靴着用の問題についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	現代生活での身体圧迫 (衣服圧を利用した衣服)	講義	衣服圧の良い点、悪い点 が理解できる	(予習) 圧を利用した衣服を 検索してくる (復習) 衣服圧についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	皮膚の清潔と健康 衣服による皮膚障害。 肌にやさしい衣服を考える。	講義	皮膚を清潔に保つ事の重要性と、 衣服による皮膚障害とその予防について分かる。	(予習) 衣服による皮膚トラブルの 経験を調べてくる (復習) 衣服による皮膚障害の 予防法をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	おしゃれの心理的効果 おしゃれをすると気分が上がるのは なぜ? ストレスホルモンとの関係	講義	心理的な快適が分かる。 おしゃれの効果を理解する。	(予習) 人間の欲求について調べてくる (復習) おしゃれの心理的効果についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ユニバーサルデザインについて	講義	ユニバーサルデザインの定義について理解できる	(予習) 身の周りのユニバーサルデザイン のものを調べてくる (復習) ユニバーサルデザインの衣服があるか調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	着心地がよくおしゃれな衣服 ライフステージと身体特性の変化	講義+演習	高齢者や障がい者の身体的特性を理解できる	(予習) 高齢者の身体特性を観察してくる (復習) まわりの高齢者の衣服を観察する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	高齢者や障がい者にとって着やすい衣服	グループディスカッション+演習	高齢者や障がい者の身体的特性を理解し、どのような衣服への配慮が必要か考える。	(予習) まわりの高齢者の衣服を観察してまとめてくる (復習) 高齢者や障がい者にとって着やすい衣服を考える	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	これまでの振り返り	講義	これまでの授業内容が整理されている	(予習) これまでのシートや資料を整理してくる (復習) これまでの振り返りと考察をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力